

第 39 回

NHK 杯全国高校放送コンテスト

神奈川県大会 予選

日時 平成 4 年 6 月 7 日(日) AM 9 : 00 ~
場所 県立金井高等学校
主催 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会
後援 神奈川県教育委員会
NHK 横浜放送局
有隣堂
朝日新聞社横浜支局
神奈川県新聞社
主管 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会校内放送委員会

本選 日時 平成 4 年 6 月 21 日(日) AM 9 : 15 ~
場所 県立港南台高等学校

目 次

ページ

* 日 程 ・ 開 会 式 次 第 ・ ・ ・ 1

* 会 場 案 内 図 ・ ・ ・ 2

* 役 員 一 覧 ・ ・ ・ 4

* 委 員 校 ・ 役 員 校 業 務 分 担 ・ ・ ・ 5

* 実 施 要 領 ・ ・ ・ 6

* 審 査 員 一 覧 ・ ・ ・ 12

* 出 場 者 及 び エ ン ト リ ー 一 覧

ア ナ ウ ン ス 部 門 ・ ・ ・ ・ ・ 14

朗 読 部 門 ・ ・ ・ ・ ・ 16

ラ ジ オ 番 組 部 門 課 題 ・ ・ ・ ・ ・ 18

ラ ジ オ 番 組 部 門 自 由 ・ ・ ・ ・ ・ 19

テ レ ビ 番 組 部 門 課 題 ・ ・ ・ ・ ・ 20

テ レ ビ 番 組 部 門 自 由 ・ ・ ・ ・ ・ 20

研 究 発 表 部 門 ・ ・ ・ ・ ・ 20

* 出 場 校

及 び 参 加 部 門 別 本 数 一 覧 ・ ・ ・ 21

日 程

9:00～ 9:30	受付
9:30～10:00	開会式（於：体育館）
10:00	審査開始
12:00	午前の部終了

昼食時間

13:00	午後の部開始
16:00	審査終了
17:00	全員退校

開会式次第

1. あいさつ 大会顧問 関野 亘
2. 第38回大会総合優勝、準優勝杯返還
 - ・NHK杯（総合優勝杯）返還 県立座間高等学校
 - ・有隣堂杯（総合準優勝杯）返還 法政大学第二高等学校
3. 第39回大会実施上の注意 総合審査副委員長 藤田 吉雄

- ※ 委員校、役員校の生徒は、指示に従って会場準備にあたること。
- ※ 審査員（顧問）は9時より審査打ち合わせを行います。
- ※ 午前の部終了、午後の部開始の時刻は、審査会場によって異なります。
特にアナウンス部門、朗読部門の出場者は注意して下さい。

会場案内図

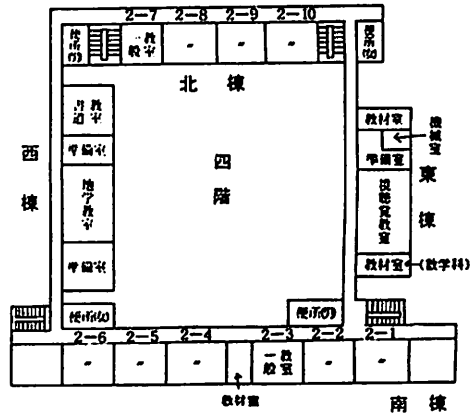
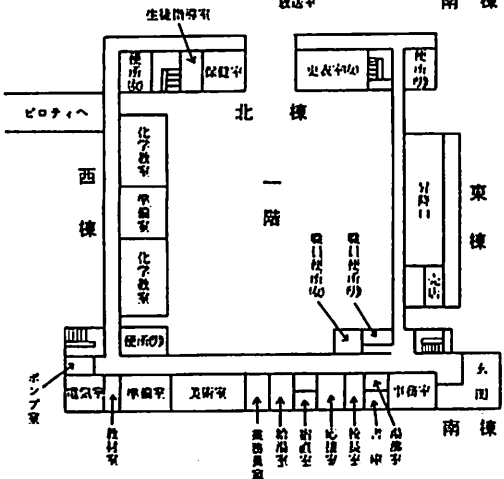
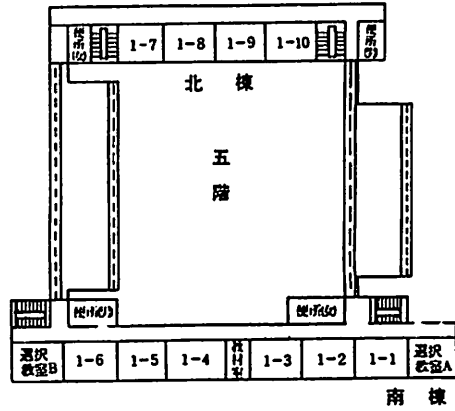
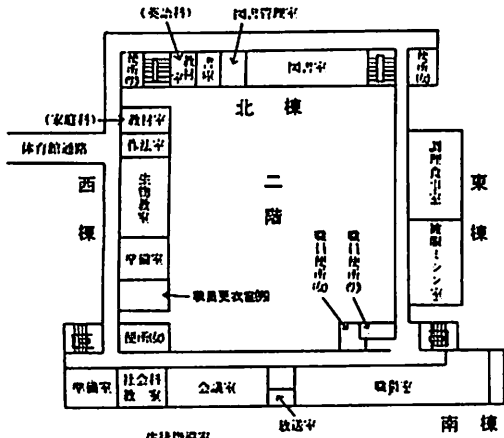
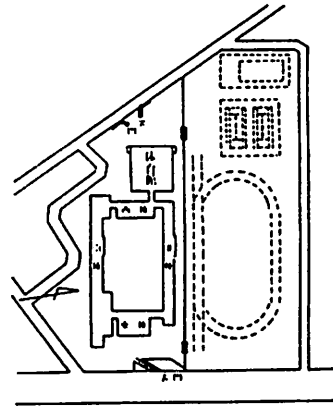
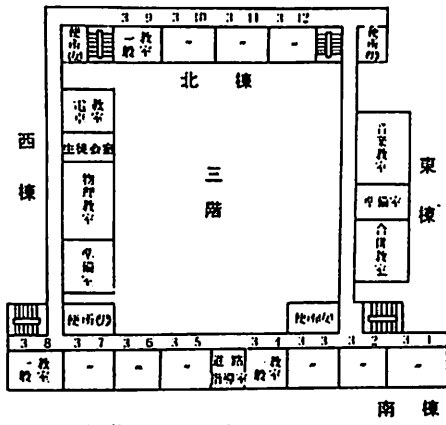
審査会場配置

アナウンスA	東棟 4階 視聴覚室
アナウンスB	東棟 3階 合併教室
朗読 A	南棟 3階 3年3組教室
朗読 B	南棟 3階 3年6組教室
ラジオ自由A	南棟 4階 2年2組教室
ラジオ自由B	南棟 4階 2年5組教室

運営

本部	南棟 2階 会議室
審査員控え室	南棟 2階 会議室
審査補助係打合	西棟 3階 物理教室
集計室	西棟 2階 生物教室
電算室	南棟 2階 社会科教室
開会式	体育館

校舎配置図



役員一覽

- | | | |
|---------------|--------|---------------|
| 1. 大会会長 | 西森 二郎 | (県立大岡高等学校) |
| 2. 大会副会長 | 清水 保善 | (県立汲沢高等学校) |
| 大会副会長 | 高野 陽一 | (東横学園大倉山高等学校) |
| 3. 大会顧問 | 関野 亘 | (県立瀬谷西高等学校) |
| 4. 大会実行委員長 | 杉浦 敏昭 | (県立平塚江南高等学校) |
| 5. 大会総合審査委員長 | 須川 光雄 | (県立座間高等学校) |
| 6. 大会総合審査副委員長 | 藤田 吉雄 | (川崎市立商業高等学校) |
| 大会総合審査副委員長 | 岩崎 章 | (県立新城高等学校) |
| 7. 大会実行委員 | | |
| 本部 | 金子 和明 | (県立金井高等学校) |
| 受付 | 平田 ますみ | (県立菅高等学校) |
| 審査補助 | 片山 浩行 | (横浜市立戸塚高等学校) |
| 審査補助 | 本田 博都 | (県立海老名高等学校) |
| 集計 | 石川 一浩 | (県立小田原城内高等学校) |
| 集計 | 川口 修 | (県立百合丘高等学校) |
| 会計 | 石川 岩夫 | (県立相模大野高等学校) |

役員校・委員校 業務分担

<役員校>

- ・県立平塚江南：杉浦 敏昭（委員長）
- ・横浜市立戸塚：片山 浩行（副委員長）
- ・県立金井：金子 和明（副委員長）
- ・県立菅：平田 ますみ（副委員長）
- ・県立海老名：本田 博都（副委員長）
- ・県立百合丘：川口 修（副委員長）
- ・県立小田原城内：石川 一浩（副委員長）
- ・県立相模大野：石川 岩夫（会計）

<委員校>

◎横浜

- ・県立港南台：遠藤 隆一
- ・県立川和：進藤 潤一
- ・鶴見女子：多城 淳
- ・県立港北：藤田 健
- ・県立清水ヶ丘：笠原 博明
- ・横浜市立南：大森 俊尚

◎川崎

- ・県立柿生：中村 和広

◎湘南

- ・県立茅ヶ崎：角田 鈴子
- ・県立大船工業技術：小沢 元

◎北相

- ・県立新磯：川内野 敏郎
- ・相模女子大学高等部：角田 亨
- ・県立相武台：大庭 孝則

◎横須賀・三浦・西湘

- ・県立横須賀：濱口 幸治

<業務分担（人数）>

◎本部 ・金井（4） ・平塚江南（4）

◎受付 ・戸塚（4）

◎会場 ・金井（4）

◎電算 ・戸塚（3） ・小田原城内（3） ・相模大野（3） ・海老名（3）

◎審査補助

- ・アナA 川和（4）
- ・朗読A 相模女子（3）
新磯（3）
- ・ラ自A 大船工技（3）
- ・アナB 南（4）
- ・朗読B 鶴見女子（4）
- ・ラ自B 県立茅ヶ崎（3）

◎集計 ・アナA 横須賀（3）
朗読A 相武台（3）
ラ自A 港北（4）
・アナB 柿生（3）
朗読B 港南台（3）
ラ自B 清水ヶ丘（4）

実施要領

1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、高等学校の特色ある教育活動の中核となる校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2. ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学園生活の中にうるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 発展する社会に対し、放送の果たす役割を学ぶ。
- (5) 国際理解を深め、人間尊重の心を培う放送の働きを確かめる。

3. 主催・後援・主管

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

後援：神奈川県教育委員会、NHK横浜放送局、有隣堂、朝日新聞社、神奈川新聞社

主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会校内放送委員会

4. 日程・会場

<予選> 1991年6月7日(日) 県立金井高等学校

- ・実施部門：アナウンス、朗読、ラジオ番組(自由)
- ・受け付け： 9:00～ 9:30
- ・開会式： 9:30～10:00
- ・審査打合： 9:00～ 9:30
- ・審査開始：10:00

*審査結果は後日、葉書で連絡する。電話問い合わせは不可。

<本選> 1991年6月21日(日) 県立港南台高等学校

- ・実施部門：全部門
- ・受け付け： 9:15～ 9:45
- ・審査打合： 9:00～ 9:30
- ・審査開始：10:00
- ・予選落選作品返却：12:00～13:00
- ・閉会式： 16:00～17:00

5. 参加資格

1992年6月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学している生徒であること。

6. 部門・出場数・出場費

部門	出場数	出場費
研究発表	1本	1800円
アナウンス	2名	1500円
朗読	2名	1500円
ラジオ番組	課題・自由各1本	1800円
テレビ番組	課題・自由各1本	1800円

*アナウンスと朗読に同一人が出場してはならない。

7. 表彰

部門	教育長賞	高視研会長賞 及びトロフィー	上位賞
研究発表	1位	参加数による	同左
アナ・朗読	各1位	各1～6位	各7～12位
ラジ課・自	各1位	各1～4位	各5～8位
テレ課・自	各1位	各1～4位	各5～8位

*総合優勝：NHK横浜放送局長賞 及び 同杯

*総合準優勝：有隣堂賞 及び 同杯

*アナウンス部門1～4位までの生徒は、神奈川高校芸術祭の開会式、閉会式の司会進行をお願いします。

8. 全国大会への推薦

入賞者および入賞作品を上位より順に全国大会要領により推薦する。

9. 審査基準

高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。

10. 説明会・出場申し込み

1992年5月16日(土) 14:30~17:00

県立金井高等学校

*詳細は資料10、11を参照。

11. 注意事項

- ① 会場は土足厳禁。必ずスリッパまたは上履きを持参すること。
- ② 全部門を通じ、出場申し込みの変更は認めない。
- ③ 放送台本・テープは出場1名・1本ごとに封筒に入れ、必要事項を記入し、大会当日に受付に提出すること。テレビ番組・研究発表部門については、本選当日、受付に提出すること。
- ④ 出場順等は、当日配布されるプログラムで確認すること。
- ⑤ 役員校・委員校の係生徒の集合時刻は午前8時30分。

12. 研究発表部門 諸規定

内容	日常の校内放送活動の中から、放送にたずさわる喜びや問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表する。	
時間	7分00秒～8分00秒以内。	
人数	発表にかかわる登壇者は6名以内。	
機 器	<p>次の3種のみ。</p> <p>35mmスライド映写機(及びスクリーン) カセットテープレコーダー OHP(及びスクリーン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記を主催者が用意する。原則としてそれを使用すること。 ・上記3種について、自校のものを持ち込み使用することも認めるが、その場合は、出場カードにその旨、記載すること。 ・創作した機器等を提示する場合は、上記3種以外も可。 	
論文	1200字以内。2部。全国様式規定1。	角3封筒に入れ 台本表紙と同様に記載する。
台本	2部。全国様式規定2および6。	

13. アナウンス部門・朗読部門 諸規定

	アナウンス部門	朗読部門
内	自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。	次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。作品の脚色は認めない。
容	<ol style="list-style-type: none"> 1 「和解」 2 「思い出トランプ」 3 「若き数学者のアメリカ」 4 「アンの青春」 5 「平家物語」 <p>()内の出版社に限る。</p>	<p>志賀 直哉著 (新潮文庫)</p> <p>向田 邦子著 (新潮文庫)</p> <p>藤原 正彦著 (新潮文庫)</p> <p>モンゴメリ著 (新潮文庫)</p> <p>古典作品 (指定なし)</p>
時間	1分10秒～1分30秒。 エントリー番号、校名、氏名を含む。	1分30秒～2分00秒。 エントリー番号、校名、氏名 作者名、作品名を含む。
原稿	10部。全国様式規定3に従う。 角3封筒に入れ、原稿表紙と同様に記載する。	

14. ラジオ・テレビ番組部門 内容規定

	課題部門	自由部門
内	テーマ 「われら高校生」	高校生活や地域社会とのかかわりを考えた未来を見つめる作品であってほしい。高校生としての視点や独創的な取り組みを大切にしたい。
容	<p>ラジオ・テレビの特性を生かして、テーマを表現する。高校生活に広く素材を求め、テーマの焦点化を工夫した独創的な作品であること。</p> <p>高校生の創作に限る。 また、他のコンクールなどに参加した作品の参加は認めない。</p>	

15. ラジオ・テレビ番組部門 諸規定

	時 間	スクリプト
ラ ジ オ 番 組	<p>① 6分30秒～7分00秒。</p> <p>② 使用するデッキの回転誤差がありうるため、6分45秒程度が望ましい。</p> <p>③ 録音はリーダーテープの直後から始め、最後に「制作は〇〇高等学校放送部（委員会）でした」というクレジットコールを入れる。</p> <p>④ 審査ではテープを手回しし、リーダーテープの直後を見いだしてからデッキに入れ、ポーズの状態にする。</p> <p>⑤ 計時はポーズ解除の瞬間から、クレジットコールの最後までとする。クレジットコールの最後で再生は終え、その後にどんな音が入っていても審査の対象とはしない。</p>	<p>① 8部。</p> <p>② 全国様式規定5および6に従って作成すること。</p> <p>③ スクリプトも審査対象である。</p>
テ レ ビ 番 組	<p>① 7分30秒～8分00秒。</p> <p>② 使用するデッキの回転誤差がありうるため、7分45秒程度が望ましい。</p> <p>③ 番組の前後に20秒ずつ全国様式規定7のテストボタンを録画する。ボタン中央の「全高放」の文字は、自校の略称にかえてよい。下には「〇〇高等学校」と校名を入れる。</p> <p>④ 計時は番組本体についてのみ行なう。但し、コンピューターグラフィック等を用いた動きのあるテストボタンは作品の一部とみなし、計時の対象とする。フェーダーも使用しないこと。</p>	<p>① 8部。</p> <p>② 全国様式規定5および6に従って作成すること。</p> <p>③ スクリプトも審査対象である。</p>

★全部門において、要領・規定に違反した場合は、失格・減点となるので、十分に注意すること。

テープ・音声	諸 注 意
<p>①往復録音時間30～60分のカセットテープのA面を使用。B面は消去。</p> <p>②テープの種類は、BIAS:NORMAL、EQ:120μSで録音再生できるものならどのようなものでも可。</p> <p>③ドルビー等のノイズリダクション方式を使用しないこと。</p> <p>④審査はノーマルポジションでモノラル再生を行なう。</p> <p>⑤全国様式規定4に従い必要事項を記載した紙を、カセット本体A面とケースに貼付すること。</p>	<p>①スクリプト、テープを角2の封筒に入れ、封筒の表にはスクリプト表紙と同様の記載をすること。</p> <p>②スクリプトの最後にクレジットロールを書き、そこにタイムを書いておくこと</p>
<p>①VTRはVHS（標準モード）β（IまたはII）、8mm（標準モード）を使用する。</p> <p>②ドルビー等ノイズリダクション方式を使用しないこと。</p> <p>③音声は1、2chをミックスし、ノーマル再生する。（ノーマルトラックのみをモノラル再生する。HiFi等は使用しない。）</p> <p>④全国様式規定4に従い必要事項を記載した紙を、カセット本体とケースに貼付すること。</p>	<p>①スクリプト、テープを角2の封筒に入れ、封筒の表にはスクリプト表紙と同様の記載をすること。</p> <p>②自校のVTR及び接続ケーブルを使って再生を行なう場合は、出場申込カードにその旨記入する。</p> <p>③8mmビデオを使用した場合、機材・続ケーブルは、各校で用意すること。</p> <p>④8mm、16mmフィルムを主体としたもの、テレビ放送局の再録を主体としたものは認めない。</p>

審査員一覽

◎印はチーフ。大会当日での変更（移動）がありますのでご注意ください。

総合審査委員長 須川光雄（県立座間）
総合副審査委員長 藤田吉雄（川崎市立商業）
総合副審査委員長 岩崎章（県立新城）

アナウンス部門

[A会場]

◎石黒進（県立湘南）
原晶子（県立五領ヶ台）
永塚勲（川崎市立商業）
小坂邦弘（横浜創英短大女子）
山室利夫（瀏野辺）
薩川弘（県立麻溝台）
入月力（県立市ヶ尾）
小野瀬倫也（川崎市立川崎）

[B会場]

◎海部弘（県立大和東）
藤本泰成（県立追浜）
常山豊次（県立茅ヶ崎北陵）
梅尾文江（法政大学第二）
澤野理（県立川崎南）
渡部忠昭（成美学園女子）
横川清和（県立川崎工業）
関口勇（県立新栄）

朗読部門

[A会場]

◎森山昌枝（法政大学女子）
安井清澄（県立弥栄東）
上野馥（県立厚木）
桜井英臣（県立保土ヶ谷）
石橋勝信（武相）
新井隆士（県立柏陽）
増田滋津（カリタス女子）
佐藤良一（県立逗子）

[B会場]

◎高島禮子（県立横浜日野）
石川喜久（県立久里浜）
北原ふみ子（県立茅ヶ崎西浜）
小嶋毅（県立元石川）
鹿目秀嘉（県立川崎北）
浦山和博（県立川崎）
小林正英（県立城郷）
石井哲雄（県立橋本）

ラジオ番組制作部門自由

[A会場]

◎加藤孝夫（県立大師）
加藤兀（県立鶴嶺）
桜井陸行（県立寒川）
矢吹孝弘（県立生田）
田代聡（県立荏田）
渡辺輝彦（県立横浜立野）
野中和哉（県立藤沢西）

[B会場]

◎山崎里見（横浜市立鶴見工業）
石川順一（県立藤沢北）
山口敦郎（県立生田東）
原田実（川崎市立高津）
和田常雄（県立向の岡工業）
関弘之（県立岡津）
小瀬村一博（県立小田原城北工業）

ラジオ番組制作部門課題 (本選のみ)

- ◎松本 聡 (県立鶴見)
- 古賀勝彦 (県立大和)
- 芳賀孝弘 (県立氷取沢)
- 山口悦子 (県立永谷)
- 小林信孝 (日本大学)
- 山田和彦 (県立有馬)

**テレビ番組制作部門課題
研究発表部門 (本選のみ)**

- ◎古谷 勝 (日本大学藤沢)
- 吉田智彦 (県立磯子)
- 高木比呂志 (県立鎌倉)
- 加藤 啓 (川崎市立商業)
- 井浦 洋 (県立白山)
- 川手 徹 (県立新羽)
- 丹野弘敏 (県立神奈川工業)
- 前田一穂 (県立逗葉)

テレビ番組制作部門自由 (本選のみ)

- ◎中丸隆夫 (東海大学附属相模)
- 長岡 豊 (向上)
- 布施光一 (県立六ッ川)
- 枝村篤樹 (県立横浜翠嵐)
- 佐藤 正 (湘南工科大附属)
- 村田尚一 (県立津久井)
- 田村 昭 (県立釜利谷)
- 市川泰男 (横浜市立金沢)

出場者及びエントリー一覧表

アナウンス部門

A会場

No.	学校名	氏名	学年	No.	学校名	氏名	学年
1	県立清水ヶ丘	山口幸紀	1	27	県立港北	石濱真奈美	3
2	県立藤沢北	佐々木章子	1	28	横浜市立南	佐藤文枝	3
3	鶴見女子	森谷麻紀子	3	29	県立川和	但野陽子	3
4	県立大和	新井奈実	1	30	県立鶴嶺	坂本いづみ	2
5	県立神奈川工業	鈴木学	2	31	県立有馬	新井清	3
6	県立湘南	小野田あゆみ	1	32	県立厚木	松坂理子	2
7	県立金井	丸山文	1	33	県立寒川	風間信広	3
8	県立新栄	高木美和	2	34	県立麻溝台	岡部晶彦	2
9	県立保土ヶ谷	坂本健太郎	2	35	県立座間	山本真希子	3
10	横浜創英短大女子	長谷川悦代	2	36	県立相模大野	岡野弘美	3
11	横浜市立鶴見工業	吉丸幸一	1	37	県立海老名	佐々木香織	1
12	県立元石川	鈴木正子	2	38	東海大学附属相模	中澤恵美	3
13	法政大学女子	藤久保まゆ	2	39	県立相武台	吉浜琴美	1
14	県立大和東	永井恵理	3	40	向上	八島しのぶ	2
15	県立藤沢西	俄山美絵	1	41	県立港南台	平山祐衣	1
16	県立瀬谷西	土田広	1	42	県立川崎	倉沢亜紀	3
17	川崎市立川崎	宮崎正晃	3	43	川崎市立商業	石塚あさみ	2
18	カリタス女子	内田真貴	1	44	県立生田	大野明子	1
19	県立釜利谷	中山理恵子	2	45	県立小田原城内	小田明子	2
20	県立小田原城北工業	高橋真佐子	2	46	法政大学第二	小田創	1
21	県立六ツ川	橘初美	3	47	相模女子大学高等部	大沢和恵	3
22	県立柏陽	橋本裕之	3	48	県立柿生	末吉真由美	2
23	日本大学藤沢	柏木裕美子	3	49	県立五領ヶ台	若月真葉	
24	湘南工科大学附属	久保圭一郎	3	50	県立茅ヶ崎北陵	門伝幸子	3
25	県立横浜立野	渡辺綾	2	51	県立横須賀	山森平允	1
26	県立磯子	高橋邦子	2				

<アナウンス部門：審査の観点>

1) 取材・まとめ方

話の内容、構成やまとめ方かどうか。

2) 内容の把握

内容をよく把握したしたアナウンスをしているか。

アナウンス部門

B 会場

No.	学校名	氏名	学年	No.	学校名	氏名	学年
1	横浜市立鶴見工業	近藤雄祐	3	26	相模女子大学高等部	細川智子	2
2	県立磯子	岩沢真紀子	1	27	県立大和東	嶋田峰子	1
3	県立港北	泉山水穂	3	28	向上	青柳ゆかり	3
4	川崎市立川崎	大塚綾乃	1	29	県立座間	龍野ミサ	2
5	法政大学第二	藤島大介	2	30	県立厚木	山崎智子	2
6	県立小田原城内	三須恵美子	3	31	県立瀬谷西	小林博史	3
7	県立小田原城北工業	松本明日香	2	32	県立柏陽	小林聡子	2
8	県立元石川	金子佳子	2	33	県立保土ヶ谷	田中芽唯	2
9	湘南工科大学附属	宮本恵立弥	3	34	県立生田	高橋宏美	1
10	日本大学藤沢	小山明子	2	35	県立海老名	三橋亜矢	2
11	県立城郷	大塚裕美	3	36	県立六ツ川	近藤竜也	1
12	県立麻溝台	磯崎陽子	2	37	鶴見女子	山崎朋子	1
13	県立川崎	賀嶋喜美恵	3	38	横浜市立南	井上裕司	2
14	川崎市立商業	村田有紀	3	39	県立鶴嶺	青山奈津美	2
15	カリタス女子	荒井清美	1	40	県立清水ヶ丘	高橋幸大	1
16	県立川和	松下彌生	1	41	県立相模大野	井上明子	1
17	横浜市立金沢	熊谷優子	2	42	県立大和	星名史絵	1
18	横浜創英短大女子	松本香織	2	43	県立有馬	秋元佳子	2
19	法政大学女子	居山真希子	1	44	県立横浜翠嵐	小川乃絵	2
20	東海大学附属相模	呉地英明	2	45	県立逗葉	内山恵理	2
21	県立多摩	萩塚正	3	46	県立岡津	野口寛子	3
22	県立横須賀	梅原仁美	1	47	県立永谷	宮貴子	3
23	県立五領ヶ台	小川美香		48	横浜市立戸塚	田嶋千与	2
24	県立湘南	小林純子	1	49	県立神奈川工業	橋本忍	2
25	県立寒川	小山由香	2	50	県立藤沢北	枇杷木有加	2

3) 話しかけ方

内容伝達の力、間の取り方など、アナウンスの仕方全般。

4) 基礎技術

発声・音量・イントネーション・アクセントなどかどうか。

5) 全体的な印象

1)～4)以外の点で感じられたことも含む。

朗読部門

1. 和解
4. アン青春

2. 思い出トランプ
5. 平家物語

3. 若き数学者のアメリカ

A会場

No.	学校名	氏名	学年	No.	学校名	氏名	学年
1	県立磯子	作間香織	2	34	川崎市立商業	根岸リカ	1
2	県立横浜立野	黒川知己	1	35	県立座間	大久保秀彦	3
3	横浜市立鶴見工業	熊谷剛	3	36	県立新栄	平山みどり	2
4	法政大学女子	牧野亜希子	2	37	横浜市立戸塚	松本朋枝	2
5	県立永谷	永吉みう	3	38	県立元石川	若林あかり	3
6	県立城郷	伊藤忍	3	39	県立相模大野	村瀬香	2
7	武相	宮代隆志	2	40	県立保土ヶ谷	鈴木幸夫	2
8	向上	太田麻耶	1	41	県立市ヶ尾	野海良子	2
9	県立小田原城北工業	清水未央	3	42	県立金井	徳永清子	1
10	県立寒川	奈良真由美	2	43	県立有馬	内藤かおり	3
11	県立横須賀	神野愛	1	44	県立釜利谷	吉村美樹	2
12	横浜市立南	井野元悟	2	45	県立湘南	高橋悠子	1
13	県立麻溝台	岩城麗子	1	46	横浜市立金沢	濱崎葉子	2
14	県立追浜	免出由美	2	47	県立翠嵐	高岡亜夕子	2
15	県立瀬谷西	久保智美	1	48	県立相武台	千田清峰代	1
16	県立平塚江南	佐草純子	3	49	県立大和東	板橋しのぶ	3
17	県立大師	阿部江里子	3	50	県立新羽	石渡雅子	2
18	成美学園女子	北村紘子	2	51	県立茅ヶ崎北陵	成田綾乃	3
19	県立逗葉	森下真希	3	52	東海大学附属相模	関野千鶴	3
20	県立港南台	北村陶子	1	53	県立氷取沢	庄司将敏	3
21	県立柏陽	頭師朋子	2	54	横浜創英短大女子	山口まゆ美	2
22	県立藤沢西	中森利子	1	55	日本大学藤沢	石野典子	2
23	県立藤沢北	井上良子	2	56	県立新磯	松井慎一郎	3
24	法政大学第二	手塚啓介	3	57	湘南工科大学附属	河井敬介	1
25	県立川崎	岩瀬智子	2	58	カリタス女子	高原佳子	1
26	県立弥栄東	嶋原美香	1	59	県立鎌倉	藤原奈緒	2
27	県立大和	沖野貴美	1	60	県立海老名	近藤優子	3
28	県立生田	市田真沙美	1	61	県立小田原城内	小島孝子	2
29	県立茅ヶ崎西浜	平田彩子	3	62	県立港北	尾上美香	1
30	県立五領ヶ台	秦野希		63	県立柿生	佐々木七海	1
31	県立清水ヶ丘	湊健一	1	64	川崎市立川崎	鈴木奈奈	3
32	県立川和	菊地俊夫	3	65	県立六ツ川	青木清音	2
33	県立厚木	小宮山洋子	1				

< 朗読部門：審査の観点 >

1) 題材の選択

朗読部分の抽出の仕方かどうか。

2) 内容の把握

作品全体及び抽出部分の内容をよく把握した上で朗読しているか。

朗読部門

1. 和解 2. 思い出トランプ 3. 若き数学者のアメリカ
4. アン青春 5. 平家物語

B 会場

No.	学校名	氏名	学年	No.	学校名	氏名	学年
1	県立川和	松本文秀	2	34	県立小田原城内	湯本真弓	2
2	県立港南台	石井清美	2	35	県立六ツ川	庄田美帆	1
3	県立藤沢西	大井美香	1	36	県立海老名	長島優子	2
4	川崎市立商業	横戸寛子	3	37	県立有馬	一之木香織	2
5	相模女子大学高等部	岡田朋子	2	38	県立川崎	平山あつこ	3
6	横浜市立南	久松摂子	2	39	県立厚木	原菜摘子	2
7	県立横浜立野	佐藤裕美	3	40	県立新磯	坂元英之	2
8	横浜創英短大女子	斉藤千春	2	41	県立大和東	森栄恵	3
9	県立大和	兼子宏美	1	42	向上	藤田裕子	1
10	県立平塚江南	福田奈緒	3	43	県立座間	飯塚菜穂	3
11	県立追浜	大島三佳	2	44	県立麻溝台	幸田清華	1
12	東海大学附属相模	阿部香織	3	45	鶴見女子	湯沢美穂	3
13	県立藤沢北	有吉実保	1	46	県立相武台	永山幸恵	1
14	県立小田原城北工業	田中和恵	3	47	県立釜利谷	相川麻紀	3
15	県立鶴見	古泉聡子	2	48	横浜市立鶴見工業	新井清	2
16	県立白山	清水久実子	2	49	法政大学女子	田島彩子	2
17	カリタス女子	長谷川弥生	1	50	県立柏陽	高野靖史	2
18	県立元石川	小川恵里奈	2	51	県立新栄	鈴木玲奈	2
19	県立相模大野	伊藤圭	1	52	県立城郷	大塚綾	3
20	県立保土ヶ谷	渡辺毅	3	53	県立神奈川工業	横野尚起	3
21	県立金井	山口真紀	1	54	県立横浜日野	川井知子	3
22	県立市ヶ尾	信川知也	2	55	川崎市立川崎	新倉桂吾	1
23	県立瀬谷西	豊嶋みどり	2	56	県立湘南	稲田三有紀	1
24	日本大学藤沢	鈴木容子	3	57	横浜市立金沢	吉田昇央	1
25	県立川崎工業	山口智照	2	58	県立清水ヶ丘	菊村まゆみ	3
26	湘南工科大学附属	皆川博伸	3	59	法政大学第二	田辺博崇	1
27	県立横須賀	黒沢一雄	1	60	武相	山王丸学	2
28	県立茅ヶ崎西浜	鈴木玲	2	61	県立弥栄東	畠山佳恵	3
29	県立五領ヶ台	藤井慶子		62	県立生田	杉山真哉子	2
30	県立磯子	鈴木宏美	2	63	県立寒川	佐藤由香	2
31	県立鎌倉	中目真紀子	2	64	県立港北	遊佐久美子	2
32	成美学園女子	斉藤いずみ	2	65	県立大師	堀千恵子	3
33	県立逗葉	マイケルハリガー	3				

3) 表現の仕方

内容にあった表現方法、間の取り方など、朗読の仕方全般。

4) 基礎技術

発声・音量・イントネーション・アクセントなどかどうか。

5) 全体的な印象

1)～4)以外の点で感じられたことも含む。

ラジオ番組制作部門

課題「われら高校生」

No.	学校名	制作代表者	学年	No.	学校名	制作代表者	学年
1	県立座間	亀島考道	2	17	横浜市立南	金子智弘	1
2	県立海老名	木嶋幸子	2	18	相模女子大学高等部	川原可子	2
3	県立茅ヶ崎北陵	清水孝夫	3	19	県立小田原城内	小島孝子	2
4	県立逗葉	マイケルハリガー	3	20	県立大船工業技術	沼田一稔	3
5	県立湘南	鈴木健史	2	21	県立鶴見	木村雅史	2
6	県立相模大野	野呂太一	2	22	県立瀬谷西	松下幸生	2
7	県立柿生	村田諭	3	23	横浜市立金沢	田中宏幸	2
8	川崎市立商業	村田有紀	3	24	県立川和	佐藤利恵	2
9	川崎市立高津	佐々木真紀	2	25	県立岡津	仲野真木子	3
10	県立生田	岡部哲彦	2	26	日本大学	山口裕幸	3
11	法政大学第二	手塚啓介	3	27	県立金井	太田励	2
12	県立元石川	西本太一	2	28	東海大学附属相模	溝渕純子	3
13	県立神奈川工業	水谷剛	2	29	県立鎌倉	三橋りか	2
14	県立麻溝台	一柳優子	2	30	横浜市立鶴見工業	近藤雄祐	3
15	県立有馬	佐々木真弓	2	31	県立藤沢北	宮崎範子	2
16	向上	鈴木裕斗	3				

< 番組制作部門：審査の観点 >

1) 題材の選択

[課題部門]

「われら高校生」という総合テーマの下で、どのような題材がどのような視点で選択、設定されているか。

[自由部門]

どのようなテーマがどのような視点で選択、設定されているか。

2) 内容・構成

テーマを生かすために、どのような取材や構成が行われているか。

制作の方法は適切か。

3) 制作技術・効果

録音（録画）の技術はどうか。音楽や効果音が適切に使われているか。

4) アナウンス・ナレーション

アナウンス・ナレーションの技術はどうか。

5) 全体的な印象

1)～4)以外の点で感じられたことも含む。

*放送台本も審査対象とする。

*機材の性能による画像ノイズなどは減点しない。

ラジオ番組制作部門

自由

A 会場

No.	学校名	制作代表者	学年	No.	学校名	制作代表者	学年
1	東海大学附属相模	栗原祐一	3	15	県立湘南	浅井和幸	2
2	横浜市立南	小林健太郎	2	16	横須賀市立横須賀	国分正太郎	1
3	県立鶴嶺	竹内法子	2	17	県立柿生	菊野洋一郎	3
4	県立六ツ川	福嶋秀子	2	18	日本大学藤沢	柏木裕美子	3
5	日本大学	山口裕幸	3	19	県立藤沢北	棚木光春	3
6	県立白山	清水久実子	2	20	法政大学第二	工藤寛之	3
7	県立百合丘	花村有香	3	21	県立大和	神原浩	2
8	川崎市立商業	木村雄一	1	22	県立橋本	早坂望	2
9	県立川崎工業	山下裕美	2	23	相模女子大学高等部	三浦由美	3
10	県立横浜立野	長谷川岳	2	24	県立麻溝台	恩田理子	2
11	県立港南台	山口明生	2	25	県立相模大野	原田和彦	1
12	県立生田東	山浦壮士	2	26	県立鎌倉	広富あおい	2
13	県立瀬谷西	南條仁	3	27	県立久里浜	渡部龍太	3
14	横浜市立鶴見工業	近藤雄祐	3				

B 会場

No.	学校名	制作代表者	学年	No.	学校名	制作代表者	学年
1	県立平塚江南	保坂正勝	3	14	県立川崎	桜井正子	2
2	県立茅ヶ崎北陵	高木優	3	15	県立生田	山中祐理子	2
3	県立茅ヶ崎西浜	鈴木玲	2	16	県立川崎北	渡辺朗	2
4	県立有馬	押田佳久	2	17	県立小田原城北工業	田中和恵	3
5	県立寒川	塚越隆	3	18	県立岡津	船木桂子	2
6	県立追浜	柴田智洋	3	19	県立横浜日野	高橋昌弘	3
7	県立横須賀	山森平允	1	20	県立相武台	日野原康正	2
8	県立逗葉	佐々木佳生	3	21	県立座間	広瀬誠	3
9	横浜市立戸塚	小林直子	2	22	県立新栄	栗栖仁志	2
10	県立茅ヶ崎	副島須賀子	3	23	県立海老名	関口知恵	3
11	県立厚木	梅津健太郎	2	24	県立横浜翠嵐	藤平信行	2
12	県立弥栄東	椋沢洋美	3	25	県立荏田	山下修	3
13	法政大学女子	野崎真樹子	2	26	鶴見女子	野村祐美	3

テレビ番組制作部門

課題 「われら高校生」

No.	学校名	制作代表者	学年	No.	学校名	制作代表者	学年
1	川崎市立川崎	宮崎光男	3	11	向上	榎本和人	3
2	川崎市立商業	横戸寛子	3	12	法政大学第二	北村善仁	3
3	横浜市立金沢	佐藤光	2	13	県立有馬	佐野慎太郎	2
4	麻布大学附属渕野辺	木村康宏	3	14	県立座間	見目啓太	2
5	県立新栄	鈴木能一	3	15	横浜市立南	福澄崇	1
6	県立白山	川村栄輝	3	16	県立生田	宮川貴行	3
7	県立川崎南	山崎智充	3	17	県立相模大野	野口朱美	1
8	日本大学藤沢	小口真也	3	18	東海大学附属相模	伴剛宏	
9	県立多摩	森政文	3	19	県立金井	金子映夫	2
10	横浜市立鶴見工業	吉丸幸一	1				

テレビ番組制作部門

自由

No.	学校名	制作代表者	学年	No.	学校名	制作代表者	学年
1	麻布大学附属渕野辺	木村康宏	3	12	県立生田	京極大輔	3
2	県立麻溝台	平田奈保子	1	13	川崎市立商業	永嶺孝男	3
3	県立有馬	中澤幸夫	2	14	県立津久井	石井建典	2
4	県立相武台	立浪規裕	3	15	横浜市立南	井上裕司	2
5	横浜市立鶴見工業	吉丸幸一	1	16	県立白山	脇田英治	2
6	東海大学附属相模	棟方香織	3	17	県立相模大野	徳山則秀	1
7	県立大和東	立花真一郎	2	18	日本大学藤沢	田口陽介	3
8	県立元石川	岩谷拓郎	2	19	県立川崎工業	宇佐美郭史	2
9	川崎市立川崎	那須幸二	3	20	法政大学第二	安田正明	3
10	向上	中村綾利	3	21	県立座間	川田真	3
11	県立新栄	横山信人	2	22	県立向の岡工業	濱田貴史	3

研究発表部門

No.	学校名	制作代表者	学年	No.	学校名	制作代表者	学年
1	相模女子大学高等部	川平陽子	2	4	県立座間	山本真希子	3
2	県立有馬	渡辺将玄	3	5	横浜市立鶴見工業	熊谷剛	3
3	法政大学第二	鈴木雄二	3				

出場校及び参加部門別本数一覧

《横浜地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立鶴見		1	1					2
県立横浜翠嵐	1	1		1				3
県立川和	2	2	1					5
県立柏陽	2	2						4
県立横浜立野	1	2		1				4
県立横浜日野		1		1				2
県立港北	2	2						4
県立港南台	1	2		1				4
県立市ヶ尾		2						2
県立清水ヶ丘	2	2						4
県立金井	1	2	1		1			5
県立白山		1		1	1	1		4
県立新羽		1						1
県立岡津	1		1	1				3
県立磯子	2	2						4
県立瀬谷西	2	2	1	1				6
県立荏田				1				1
県立保土ヶ谷	2	2						4
県立新栄	1	2		1	1	1		6
県立氷取沢		1						1
県立元石川	2	2	1			1		6
県立釜利谷	1	2						3
県立永谷	1	1						2
県立六ッ川	2	2		1				5
県立城郷	1	2						3
県立神奈川工業	2	1	1					4
横浜市立戸塚	1	1		1				3
横浜市立金沢	1	2	1		1			5
横浜市立南	2	2	1	1	1	1		8
横浜市立鶴見工業	2	2	1	1	1	1	1	9
成美学園女子		2						2
横浜創英短大女子	2	2						4
鶴見女子	2	1		1				4
法政大学女子	2	2		1				5
日本大学			1	1				2
武相		2						2
横浜地区合計	41	56	11	16	6	5	1	136

《川崎地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立川崎	2	2		1				5
県立多摩	1				1			2
県立生田	2	2	1	1	1	1		8
県立川崎北				1				1
県立百合丘				1				1
県立柿生	1	1	1	1				4
県立生田東				1				1
県立川崎南					1			1
県立大師		2						2
県立川崎工業		1		1		1		3
県立向の岡工						1		1
川崎市立川崎	2	2			1	1		6
川崎市立高津			1					1
川崎市立商業	2	2	1	1	1	1		8
法政大学第二	2	2	1	1	1	1	1	9
カリタス女子	2	2						4
川崎地区合計	14	16	5	9	6	6	1	57

《横須賀・三浦地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立横須賀	2	2		1				5
県立追浜		2		1				3
県立逗葉	1	2	1	1				5
県立久里浜				1				1
横須賀市立横須賀				1				1
横三地区合計	3	6	1	5	0	0	0	15

《湘南地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立平塚江南		2		1				3
県立鎌倉		2	1	1				4
県立湘南	2	2	1	1				6
県立茅ヶ崎				1				1
県立茅ヶ崎北陵	1	1	1	1				4
県立鶴嶺	2			1				3
県立藤沢西	1	2						3
県立藤沢北	2	2	1	1				6
県立五領ヶ台	2	2						4
県立寒川	2	2		1				5
県立茅ヶ崎西浜		2		1				3
県立大船工業技術			1					1
日本大学藤沢	2	2		1	1	1		7
湘南工科大学附属	2	2						4
湘南地区合計	16	21	5	10	1	1	0	54

《西湘・北相地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立小田原城内	2	2	1					5
県立小田原城北工業	2	2		1				5
県立大和	2	2		1				5
県立厚木	2	2		1				5
県立津久井						1		1
県立座間	2	2	1	1	1	1	1	9
県立麻溝台	2	2	1	1		1		7
県立橋本				1				1
県立相武台	1	2		1		1		5
県立海老名	2	2	1	1				6
県立大和東	2	2				1		5
県立有馬	2	2	1	1	1	1	1	9
県立弥栄東		2		1				3
県立新磯		2						2
県立相模大野	2	2	1	1	1	1		8
相模女子大学高等部	2	1	1	1			1	6
麻布大学附属測野辺					1	1		2
東海大学附属相模	2	2	1	1	1	1		8
向上	2	2	1		1	1		7
西湘北相地区合計	27	31	9	13	6	10	3	99
総計	101	130	31	53	19	22	5	361

諸 注 意

1. 校舎内、体育館内は土足厳禁です。特に体育館では、体育館履きを忘れた人は素足で入場して下さい。
2. 飲食は南棟3、4階の控室以外では禁止します。
3. 所定のゴミ箱以外には、絶対にゴミを捨てないで下さい。
4. 立入禁止区域に入らないこと。また、教室内の私物には手をふれぬこと。その他あらゆる点で、会場校に迷惑をかけないように、考えて行動すること。
5. 審査中は静かにして下さい。
会場内は勿論、廊下でも静かに。会場への出入りは、審査の境目にする。
6. 作品、スクリプト等の受け渡しは各会場で行います。提出時間に遅れないように。
7. アナウンス、朗読の出場者は早めに各会場で待機していること。
8. 予選落選作品は、本選日（6月21日）の12:00～13:00に県立港南台高等学校で返却します。審査用紙と「落選作品の順位が目安」を同時にお渡しします。当日、受け取りにこなかった学校の分は廃棄されます。

第 39 回

NHK 杯全国高校放送コンテスト

神奈川県大会 本選

日時 平成4年6月21日(日) AM9:15~
場所 県立港南台高等学校
主催 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会
後援 神奈川県教育委員会
NHK 横浜放送局
有隣堂
朝日新聞社 横浜支局
神奈川県新聞社
主管 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会校内放送委員会

目 次

	ページ
* 日 程 ・ 閉 会 式 次 第 . . .	1
* 会 場 案 内 図 . . .	2
* 役 員 一 覧 . . .	4
* 委 員 校 ・ 役 員 校 業 務 分 担 . . .	5
* 実 施 要 領 . . .	6
* 審 査 員 一 覧 . . .	12
* 出 場 者 及 び エ ン ト リ ー 一 覧	
ア ナ ウ ン ス 部 門	14
朗 読 部 門	15
ラ ジ オ 番 組 部 門 課 題	16
ラ ジ オ 番 組 部 門 自 由	16
テ レ ビ 番 組 部 門 課 題	17
テ レ ビ 番 組 部 門 自 由	17
研 究 発 表 部 門	17
* 番 組 制 作 部 門 審 査 の 観 点 . . .	18
* 出 場 校	
及 び 参 加 部 門 別 本 数 一 覧 . . .	19

日 程

9 : 1 5 ~ 9 : 4 5 受付
9 : 0 0 ~ 9 : 3 0 審査員打ち合わせ
1 0 : 0 0 審査開始
1 2 : 0 0 午前の部終了

昼食時間・予選落選作品返却

1 3 : 0 0 午後の部開始
1 6 : 0 0 審査終了
1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0 閉会式

閉会式次第

開式 17時

1. 挨拶
大会会長 西森 二郎
大会顧問 関野 亘
2. 審査講評
各部門審査チーフ・特別審査員(NHK横浜)
3. 結果発表
審査委員長 須川 光雄
4. 賞状・トロフィー授与
大会会長 西森 二郎
5. 諸連絡
実行委員長 杉浦 敏昭

閉式

- * 全国大会出場者(校)への諸連絡 実行委員長
- * スクリプト・作品返却

会場案内図

審査会場配置

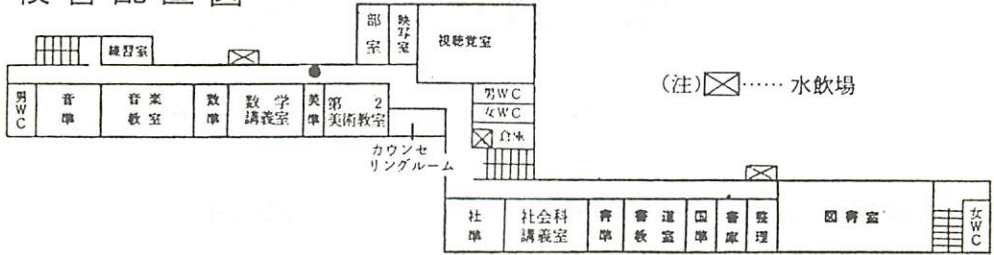
アナウンス	4階	1年3組教室
朗読	4階	1年6組教室
ラジオ課題	4階	1年9組教室
ラジオ自由	4階	2年2組教室
テレビ課題	5階	社会科講義室
研究発表	5階	社会科講義室
(テレビ課題審査終了後)		
テレビ自由	5階	視聴覚教室

運営

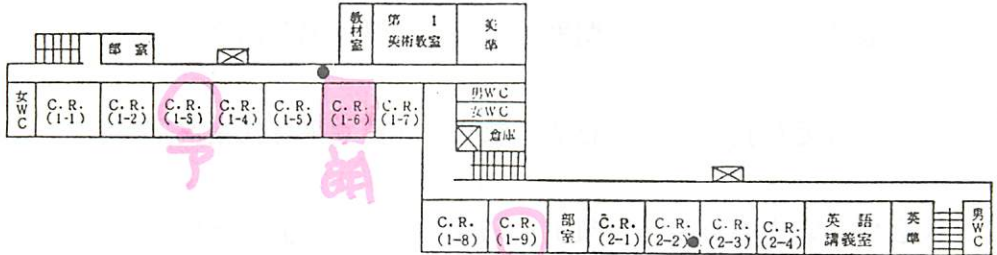
本部	2階	会議室
審査員控室	2階	会議室
審査補助係打合	2階	物理教室
集計室	2階	男子更衣室
電算室	2階	天秤室
来賓室	1階	第二応接室
落選作返却	4階	美術室前廊下
閉会式		体育館

校舎配置図

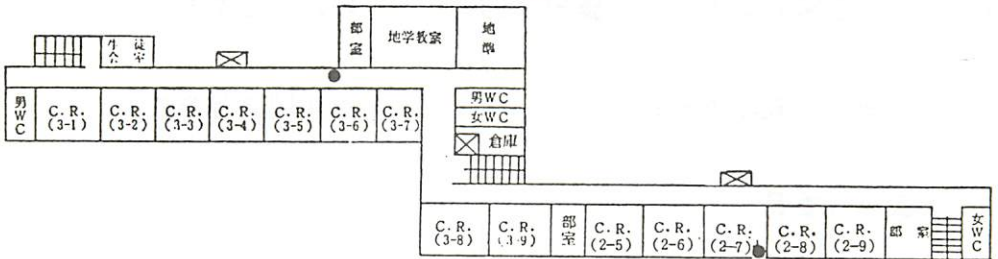
5階



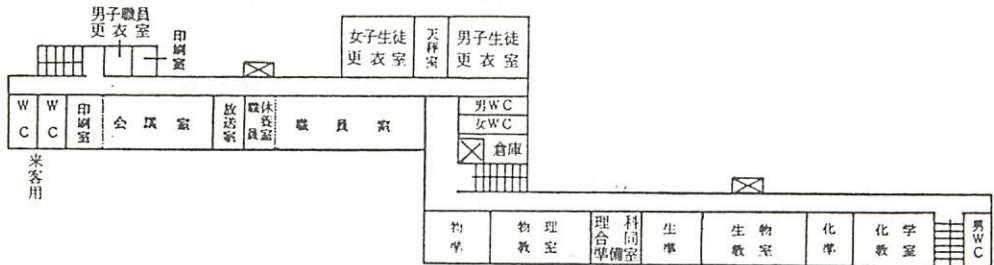
4階



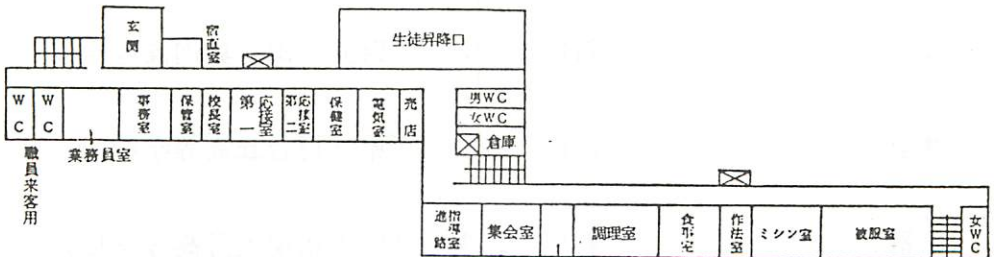
3階



2階



1階



●印 … 救助袋の位置

女子職員更衣室

役員一覽

- | | | |
|---------------|--------|---------------|
| 1. 大会会長 | 西森 二郎 | (県立大岡高等学校) |
| 2. 大会副会長 | 清水 保善 | (県立汲沢高等学校) |
| 大会副会長 | 高野 陽一 | (東横学園大倉山高等学校) |
| 3. 大会顧問 | 関野 亘 | (県立瀬谷西高等学校) |
| 4. 大会実行委員長 | 杉浦 敏昭 | (県立平塚江南高等学校) |
| 5. 大会総合審査委員長 | 須川 光雄 | (県立座間高等学校) |
| 6. 大会総合審査副委員長 | 藤田 吉雄 | (川崎市立商業高等学校) |
| 大会総合審査副委員長 | 岩崎 章 | (県立新城高等学校) |
| 7. 大会実行委員 | | |
| 本部 | 金子 和明 | (県立金井高等学校) |
| 受付 | 平田 ますみ | (県立菅高等学校) |
| 審査補助 | 片山 浩行 | (横浜市立戸塚高等学校) |
| 審査補助 | 本田 博都 | (県立海老名高等学校) |
| 集計 | 石川 一浩 | (県立小田原城内高等学校) |
| 集計 | 川口 修 | (県立百合丘高等学校) |
| 会計 | 石川 岩夫 | (県立相模大野高等学校) |

役員校・委員校 業務分担

< 役員校 >

- ・ 県立平塚江南：杉浦 敏昭 (委員長)
- ・ 横浜市立戸塚：片山 浩行 (副委員長)
- ・ 県立金井：金子 和明 (副委員長)
- ・ 県立菅：平田 ますみ (副委員長)
- ・ 県立海老名：本田 博都 (副委員長)
- ・ 県立百合丘：川口 修 (副委員長)
- ・ 県立小田原城内：石川 一浩 (副委員長)
- ・ 県立相模大野：石川 岩夫 (会計)

< 委員校 >

◎横浜

- ・ 県立港南台：竹原 亘
- ・ 県立川和：進藤 潤一
- ・ 鶴見女子：多城 淳
- ・ 県立港北：藤田 健
- ・ 県立清水ヶ丘：笠原 博明
- ・ 横浜市立南：大森 俊尚

◎川崎

- ・ 県立柿生：中村 和広

◎湘南

- ・ 県立茅ヶ崎：角田 鈴子
- ・ 県立大船工業技術：小沢 元

◎北相

- ・ 県立新磯：川内野 敏郎
- ・ 相模女子大学高等部：角田 亨
- ・ 県立相武台：大庭 孝則

◎横須賀・三浦・西湘

- ・ 県立横須賀：濱口 幸治

< 業務分担 (人数) >

◎本部 ・ 金井 (4) ・ 平塚江南 (4)

◎受付 ・ 戸塚 (4)

◎会場 ・ 港南台 (4)

◎電算 ・ 戸塚 (3) ・ 小田原城内 (3) ・ 相模大野 (3) ・ 海老名 (3)

◎審査補助

- ・ アナ 平塚江南 (4)
- ・ ラ自由 相武台 (3)
- ・ 朗読 鶴見女子 (4)
- ・ テ課研 南 (3)
- ・ ラ課題 茅ヶ崎 (3)
- ・ テ自由 横須賀 (3)

◎集計

- ・ アナ 柿生 (3)
- ・ ラ課自 清水ヶ丘 (3)
- ・ 朗読 川和 (3)
- ・ テ課自 南 (3)

5. 参加資格

1992年6月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学している生徒であること。

6. 部門・出場数・出場費

部門	出場数	出場費
研究発表	1本	1800円
アナウンス	2名	1500円
朗読	2名	1500円
ラジオ番組	課題・自由各1本	1800円
テレビ番組	課題・自由各1本	1800円

*アナウンスと朗読に同一人が出場してはならない。

7. 表彰

部門	教育長賞	高視研会長賞 及びトロフィー	上位賞
研究発表	1位	参加数による	同左
アナ・朗読	各1位	各1～6位	各7～12位
ラジ課・自	各1位	各1～4位	各5～8位
テレ課・自	各1位	各1～4位	各5～8位

*総合優勝：NHK横浜放送局長賞 及び 同杯

*総合準優勝：有隣堂賞 及び 同杯

*アナウンス部門1～4位までの生徒は、神奈川高校芸術祭の開会式、閉会式の司会進行をお願いします。

8. 全国大会への推薦

入賞者および入賞作品を上位より順に全国大会要領により推薦する。

9. 審査基準

高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。

10. 説明会・出場申し込み

1992年5月16日(土) 14:30~17:00

県立金井高等学校

*詳細は資料10、11を参照。

11. 注意事項

- ① 会場は土足厳禁。必ずスリッパまたは上履きを持参すること。
- ② 全部門を通じ、出場申し込みの変更は認めない。
- ③ 放送台本・テープは出場1名・1本ごとに封筒に入れ、必要事項を記入し、大会当日に受付に提出すること。テレビ番組・研究発表部門については、本選当日、受付に提出すること。
- ④ 出場順等は、当日配布されるプログラムで確認すること。
- ⑤ 役員校・委員校の係生徒の集合時刻は午前8時30分。

12. 研究発表部門 諸規定

内容	日常の校内放送活動の中から、放送にたずさわる喜びや問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表する。	
時間	7分00秒～8分00秒以内。	
人数	発表にかかわる登壇者は6名以内。	
機器	<p>次の3種のみ。</p> <p>35mmスライド映写機(及びスクリーン)</p> <p>カセットテープレコーダー</p> <p>OHP(及びスクリーン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記を主催者が用意する。原則としてそれを使用すること。 ・上記3種について、自校のものを持ち込み使用することも認めるが、その場合は、出場カードにその旨、記載すること。 ・創作した機器等を提示する場合は、上記3種以外も可。 	
論文	1200字以内。2部。全国様式規定1。	角3封筒に入れ台本表紙と同様に記載する。
台本	2部。全国様式規定2および6。	

13. アナウンス部門・朗読部門 諸規定

	アナウンス部門	朗読部門
内	自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。	次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。作品の脚色は認めない。
容	1 「和解」 2 「思い出トランプ」 3 「若き数学者のアメリカ」 4 「アンの青春」 5 「平家物語」 ()内の出版社に限る。	志賀 直哉著 (新潮文庫) 向田 邦子著 (新潮文庫) 藤原 正彦著 (新潮文庫) モンゴメリ著 (新潮文庫) 古典作品 (指定なし)
時間	1分10秒～1分30秒。 エントリー番号、校名、氏名を含む。	1分30秒～2分00秒。 エントリー番号、校名、氏名、作者名、作品名を含む。
原稿	10部。全国様式規定3に従う。 角3封筒に入れ、原稿表紙と同様に記載する。	

14. ラジオ・テレビ番組部門 内容規定

	課題部門	自由部門
内	テーマ 「われら高校生」	高校生活や地域社会とのかかわりを考えた未来を見つめる作品であってほしい。高校生としての視点や独創的な取り組みを大切にしたい。
容	ラジオ・テレビの特性を生かして、テーマを表現する。高校生活に広く素材を求め、テーマの焦点化を工夫した独創的な作品であること。 高校生の創作に限る。 また、他のコンクールなどに参加した作品の参加は認めない。	

15. ラジオ・テレビ番組部門 諸規定

	時 間	スクリプト
ラ ジ オ 番 組	<p>① 6分30秒～7分00秒。</p> <p>② 使用するデッキの回転誤差がありうるため、6分45秒程度が望ましい。</p> <p>③ 録音はリーダーテープの直後から始め、最後に「制作は〇〇高等学校放送部（委員会）でした」というクレジットコールを入れる。</p> <p>④ 審査ではテープを手回しし、リーダーテープの直後を見だしてからデッキに入れ、ポーズの状態にする。</p> <p>⑤ 計時はポーズ解除の瞬間から、クレジットコールの最後までとする。クレジットコールの最後で再生は終え、その後どんな音が入っていても審査の対象とはしない。</p>	<p>① 8部。</p> <p>② 全国様式規定5および6に従って作成すること。</p> <p>③ スクリプトも審査対象である。</p>
テ レ ビ 番 組	<p>① 7分30秒～8分00秒。</p> <p>② 使用するデッキの回転誤差がありうるため、7分45秒程度が望ましい。</p> <p>③ 番組の前後に20秒ずつ全国様式規定7のテストパターンを録画する。パターン中央の「全高放」の文字は、自校の略称にかえてよい。下には「〇〇高等学校」と校名を入れる。</p> <p>④ 計時は番組本体についてのみ行なう。但し、コンピューターグラフィック等を用いた動きのあるテストパターンは作品の一部とみなし、計時の対象とする。フェーダーも使用しないこと。</p>	<p>① 8部。</p> <p>② 全国様式規定5および6に従って作成すること。</p> <p>③ スクリプトも審査対象である。</p>

★全部門において、要領・規定に違反した場合は、失格・減点となるので、充分に注意すること。

テープ・音声	諸 注 意
<p>①往復録音時間30～60分のカセットテープのA面を使用。B面は消去。</p> <p>②テープの種類は、BIAS:NORMAL、EQ:120μSで録音再生できるものならどのようなものでも可。</p> <p>③ドルビー等のノイズリダクション方式を使用しないこと。</p> <p>④審査はノーマルポジションでモノラル再生をして行なう。</p> <p>⑤全国様式規定4に従い必要事項を記載した紙を、カセット本体A面とケースに貼付すること。</p>	<p>①スクリプト、テープを角2の封筒に入れ、封筒の表にはスクリプト表紙と同様の記載をすること。</p>
<p>①VTRはVHS（標準モード）β（IまたはII）、8mm（標準モード）を使用する。</p> <p>②ドルビー等ノイズリダクション方式を使用しないこと。</p> <p>③音声は1、2chをミックスし、ノーマル再生する。（ノーマルトラックのみをモノラル再生する。HiFi等は使用しない。）</p> <p>④全国様式規定4に従い必要事項を記載した紙を、カセット本体とケースに貼付すること。</p>	<p>①スクリプト、テープを角2の封筒に入れ、封筒の表にはスクリプト表紙と同様の記載をすること。</p> <p>②自校のVTR及び接続ケーブルを使って再生を行なう場合は、出場申込カードにその旨記入する。</p> <p>③8mmビデオを使用した場合、機材・続ケーブルは、各校で用意すること。</p> <p>④8mm、16mmフィルムを主体としたもの、テレビ放送局の再録を主体としたものは認めない。</p>

審 査 員 一 覧

◎印はチーフ

★印は特別審査員

大会当日での変更（移動）がありますのでご注意下さい

総合審査委員長	須川光雄	(県立座間)
総合副審査委員長	藤田吉雄	(川崎市立商業)
総合副審査委員長	岩崎章	(県立新城)

アナウンス部門

◎海部弘	(県立大和東)
★佐野英治	(NHK横浜)
藤本泰成	(県立追浜)
常山豊次	(県立茅ヶ崎北陵)
梅尾文江	(法政大学第二)
澤野理	(県立川崎南)
小野瀬倫也	(川崎市立川崎)
関口勇	(県立新栄)

朗読部門

◎森健	(法政大学女子)
安井清澄	(県立弥栄東)
上野馥	(県立厚木)
福土和彦	(県立保土ヶ谷)
鹿目秀嘉	(県立川崎北)
尾形敏幸	(県立柏陽)
加藤正彦	(カリタス女子)
柴田真理子	(県立元石川)
秋野富士雄	(県立川崎)

ラジオ番組制作部門課題

◎松本聡	(県立鶴見)
古賀勝彦	(県立大和)
芳賀孝弘	(県立氷取沢)
山口悦子	(県立永谷)
小林信孝	(日本大学)
山田和彦	(県立有馬)
横川清和	(県立川崎工業)

ラジオ番組制作部門自由

- ◎ 山崎里見 (横浜市立鶴見工業)
- 加藤孝夫 (県立大師)
- 加藤兀 (県立鶴嶺)
- 桜井睦行 (県立寒川)
- 原田 (県立藤沢北)
- 関弘之 (県立岡津)
- 渡辺輝彦 (県立横浜立野)

テレビ番組制作部門課題 研究発表部門

- ◎ 古谷勝 (日本大学藤沢)
- 吉田智彦 (県立磯子)
- 高木比呂志 (県立鎌倉)
- 加藤啓 (川崎市立商業)
- 井浦洋 (県立白山)
- 川手徹 (県立新羽)
- 丹野弘敏 (県立神奈川工業)
- 前田一穂 (県立逗葉)

テレビ番組制作部門自由

- ◎ 中丸隆夫 (東海大附属相模)
- ★ 渡辺弘 (NHK横浜)
- 長岡豊 (向上)
- 布施光一 (県立六ッ川)
- 枝村篤樹 (県立横浜翠嵐)
- 佐藤正 (湘南工科大付属)
- 村田尚一 (県立津久井)
- 田村昭 (県立釜利谷)
- 市川泰男 (横浜市立金沢)

12月1日 25日
 6月11日 25日
 5月1日
 4月2日
 3月1日
 2月1日
 1月1日

出場者及びエントリー一覧表

アナウンス部門

No.	予選	学校名	氏名	学年	No.	予選	学校名	氏名	学年
1	B21	県立多摩	萩塚正	3	29	A9	県立保土ヶ谷	坂本健太郎	2
2	B38	横浜市立南	井上裕司	2	30	A13	法政大学女子	藤久保まゆ	2
3	A3	鶴見女子	森谷麻紀子	3	31	A28	横浜市立南	佐藤文枝	3
4	B31	県立瀬谷西	小林博史	3	32	B3	県立港北	泉山水穂	3
5	B16	県立川和	松下彌生	1	33	A25	県立横浜立野	渡辺綾	2
6	A26	県立磯子	高橋邦子	2	34	A42	県立川崎	倉沢亜紀	3
7	B37	鶴見女子	山崎朋子	1	35	A50	県立茅ヶ崎北陵	門伝幸子	3
8	B46	県立岡津	野口寛子	3	36	B28	向上	青柳ゆかり	3
9	B29	県立座間	龍野ミサ	2	37	A29	県立川和	但野陽子	3
10	B25	県立寒川	小山由香	2	38	A31	県立有馬	新井清	3
11	B12	県立麻溝台	磯崎陽子	2	39	A43	川崎市立商業	石塚あさみ	2
12	B35	県立海老名	三橋亜矢	2	40	B6	県立小田原城内	三須恵美子	3
13	B32	県立柏陽	小林聡子	2	41	A20	県立小田原城北工業	高橋真佐子	2
14	A23	日本大学藤沢	柏木裕美子	3	42	A47	相模女子大学高等部	大沢和恵	3
15	B30	県立厚木	山崎智子	2	43	A22	県立柏陽	橋本裕之	3
16	B34	県立生田	高橋宏美	1	44	B17	横浜市立金沢	熊谷優子	2
17	A41	県立港南台	平山祐衣	1	45	B15	カリタス女子	荒井清美	1
18	B26	相模女子大学高等部	細川智子	2	46	B44	県立横浜翠嵐	小川乃絵	2
19	A12	県立元石川	鈴木正子	2	47	B24	県立湘南	小林純子	1
20	B19	法政大学女子	居山真希子	1	48	A16	県立瀬谷西	土田広	1
21	A40	向上	八島しのぶ	2	49	B20	東海大学附属相模	呉地英明	2
22	B13	県立川崎	賀嶋喜美恵	3	50	A37	県立海老名	佐々木香織	1
23	B48	横浜市立戸塚	田嶋千与	2	51	B43	県立有馬	秋元佳子	2
24	B49	県立神奈川工業	橋本忍	2	52	A15	県立藤沢西	俵山美絵	1
25	A35	県立座間	山本真希子	3	53	A32	県立厚木	松坂理子	2
26	B5	法政大学第二	藤島大介	2	54	A21	県立六ツ川	橋初美	3
27	A30	県立鶴嶺	坂本いづみ	2	55	B33	県立保土ヶ谷	田中芽唯	2
28	B14	川崎市立商業	村田有紀	3					

<アナウンス部門：審査の観点>

- 1) 取材・まとめ方
話の内容、構成やまとめ方はどうか。
- 2) 内容の把握
内容をよく把握したアナウンスをしているか。
- 3) 話しかけ方
内容伝達の力、間の取り方など、アナウンスの仕方全般。
- 4) 基礎技術
発声・音量・イントネーション・アクセントなどはどうか。
- 5) 全体的な印象
1)～4)以外の点で感じられたことも含む。

朗読部門

1. 和解

2. 思い出トランプ

3. 若き数学者のアメリカ

4. アンの青春

5. 平家物語

No.	予選	学校名	氏名	学年	No.	予選	学校名	氏名	学年
1	A34	川崎市立商業	根岸リカ	1	26	A61	県立小田原城内	小島孝子	2
2	A44	県立釜利谷	吉村美樹	2	27	B37	県立有馬	一之木香織	2
3	B59	法政大学第二	田辺博崇	1	28	B29	県立五領ヶ台	藤井慶子	
4	B54	県立横浜日野	川井知子	3	29	A15	県立瀬谷西	久保智美	1
5	A20	県立港南台	北村陶子	1	30	B24	日本大学藤沢	鈴木容子	3
6	B5	相模女子大学高等部	岡田朋子	2	31	B14	県立小田原城北工業	田中和恵	3
7	A41	県立市ヶ尾	野海良子	2	32	A4	法政大学女子	牧野亜希子	2
8	B38	県立川崎	平山あつこ	3	33	A14	県立追浜	免出由美	2
9	B31	県立鎌倉	中目真紀子	2	34	A35	県立座間	大久保秀彦	3
10	A43	県立有馬	内藤かおり	3	35	A38	県立元石川	若林あかり	3
11	B45	鶴見女子	湯沢美穂	3	36	A21	県立柏陽	頭師朋子	2
12	A52	東海大学附属相模	関野千鶴	3	37	A17	県立大師	阿部江里子	3
13	A45	県立湘南	高橋悠子	1	38	A26	県立弥栄東	嶋原美香	1
14	B44	県立麻溝台	幸田清華	1	39	B28	県立茅ヶ崎西浜	鈴木玲	2
15	B49	法政大学女子	田島彩子	2	40	B23	県立瀬谷西	豊嶋みどり	2
16	B36	県立海老名	長島優子	2	41	B17	カリタス女子	長谷川弥生	1
17	B18	県立元石川	小川恵里奈	2	42	A29	県立茅ヶ崎西浜	平田彩子	3
18	B22	県立市ヶ尾	信川知也	2	43	B15	県立鶴見	古泉聡子	2
19	B4	川崎市立商業	横戸寛子	3	44	A37	横浜市立戸塚	松本朋枝	2
20	A60	県立海老名	近藤優子	3	45	A39	県立相模大野	村瀬香	2
21	A50	県立新羽	石渡雅子	2	46	B1	県立川和	松本文秀	2
22	B43	県立座間	飯塚菜穂	3	47	B34	県立小田原城内	湯本真弓	2
23	A24	法政大学第二	手塚啓介	3	48	B62	県立生田	杉山真哉子	2
24	B50	県立柏陽	高野靖史	2	49	A25	県立川崎	岩瀬智子	2
25	A16	県立平塚江南	佐草純子	3	50	A49	県立大和東	板橋しのぶ	3

< 朗読部門：審査の観点 >

1) 題材の選択

朗読部門の抽出の仕方かどうか。

2) 内容の把握

作品全体及び抽出部分の内容をよく把握した上で朗読しているか。

3) 表現の仕方

内容にあった表現方法、間の取り方など朗読の仕方全般。

4) 基礎技術

発声・音量・イントネーション・アクセントなどかどうか。

5) 全体的な印象

1)～4)以外の点で感じられたことも含む。

ラジオ番組制作部門

課題「われら高校生」

No.	学校名	制作代表者	学年
1	県立座間	亀島考道	2
2	県立海老名	木嶋幸子	2
3	県立茅ヶ崎北陵	清水孝夫	3
4	県立逗葉	マイケル ハリカ-	3
5	県立湘南	鈴木健史	2
6	県立相模大野	野呂太一	2
7	県立柿生	村田諭	3
8	川崎市立商業	村田有紀	3
9	川崎市立高津	佐々木真紀	2
10	県立生田	岡部哲彦	2
11	法政大学第二	手塚啓介	3
12	県立元石川	西本太一	2
13	県立神奈川工業	水谷剛	2
14	県立麻溝台	一柳優子	2
15	県立有馬	佐々木真弓	2
16	向上	鈴木裕斗	3

No.	学校名	制作代表者	学年
17	横浜市立南	金子智弘	1
18	相模女子大学高等部	川原可子	2
19	県立小田原城内	小島孝子	2
20	県立大船工業技術	沼田一穂	3
21	県立鶴見	木村雅史	2
22	県立瀬谷西	松下幸生	2
23	横浜市立金沢	田中宏幸	2
24	県立川和	佐藤利恵	2
25	県立岡津	仲野真木子	3
26	日本大学	山口裕幸	3
27	県立金井	太田励	2
28	東海大学附属相模	溝淵純子	3
29	県立鎌倉	三橋りか	2
30	横浜市立鶴見工業	近藤雄祐	3
31	県立藤沢北	宮崎範子	2

ラジオ番組制作部門

自由

No.	予選	学校名	制作代表者	学年
1	A3	県立鶴嶺	竹内法子	2
2	B22	県立新栄	栗栖仁志	2
3	B21	県立座間	広瀬誠	3
4	A17	県立柿生	菊野洋一郎	3
5	A4	県立六ツ川	福嶋秀子	2
6	B19	県立横浜日野	高橋昌弘	3
7	B15	県立生田	山中祐理子	2
8	A23	相模女子大学高等部	三浦由美	3
9	A12	県立生田東	山浦壮士	2
10	A5	日本大学	山口裕幸	3
11	B23	県立海老名	関口知恵	3
12	A26	県立鎌倉	広富あおい	2

No.	予選	学校名	制作代表者	学年
13	B8	県立逗葉	佐々木佳生	3
14	B13	法政大学女子	野崎真樹子	2
15	B24	県立横浜翠嵐	藤平信行	2
16	B4	県立有馬	押田佳久	2
17	B26	鶴見女子	野村祐美	3
18	B10	県立茅ヶ崎	副島須賀子	3
19	A13	県立瀬谷西	南條仁	3
20	A20	法政大学第二	工藤寛之	3
21	A18	日本大学藤沢	柏木裕美子	3
22	B16	県立川崎北	渡辺朗	2
23	A10	県立横浜立野	長谷川岳	2
24	B9	横浜市立戸塚	小林直子	2

テレビ番組制作部門

課題「われら高校生」

No.	学校名	制作代表者	学年
1	川崎市立川崎	宮崎光男	3
2	川崎市立商業	横戸寛子	3
3	横浜市立金沢	佐藤光	2
4	麻布大学附属浏野辺	木村康宏	3
5	県立新栄	鈴木能一	3
6	県立白山	川村栄輝	3
7	県立川崎南	山崎智充	3
8	日本大学藤沢	小口真也	3
9	県立多摩	森政文	3
10	横浜市立鶴見工業	吉丸幸一	1

No.	学校名	制作代表者	学年
11	向上	榎本和人	3
12	法政大学第二	北村善仁	3
13	県立有馬	佐野慎太郎	2
14	県立座間	見目啓太	2
15	横浜市立南	福澄崇	1
16	県立生田	宮川貴行	3
17	県立相模大野	野口朱美	1
18	東海大学附属相模	伴剛宏	
19	県立金井	金子映夫	2

テレビ番組制作部門

自由

No.	学校名	制作代表者	学年
1	麻布大学附属浏野辺	木村康宏	3
2	県立麻溝台	平田奈保子	1
3	県立有馬	中澤幸夫	2
4	県立相武台	立浪規裕	3
5	横浜市立鶴見工業	吉丸幸一	1
6	東海大学附属相模	棟方香織	3
7	県立大和東	立花真一郎	2
8	県立元石川	岩谷拓郎	2
9	川崎市立川崎	那須幸二	3
10	向上	中村綾利	3
11	県立新栄	横山信人	2

No.	学校名	制作代表者	学年
12	県立生田	京極大輔	3
13	川崎市立商業	永嶺孝男	3
14	県立津久井	石井建典	2
15	横浜市立南	井上裕司	2
16	県立白山	脇田英治	2
17	県立相模大野	徳山則秀	1
18	日本大学藤沢	田口陽介	3
19	県立川崎工業	宇佐美郭史	2
20	法政大学第二	安田正明	3
21	県立座間	川田眞	3
22	県立向の岡工業	濱田貴史	3

研究発表部門

No.	学校名	制作代表者	学年
1	相模女子大学高等部	川平陽子	2
2	県立有馬	渡辺将玄	3
3	法政大学第二	鈴木雄二	3

No.	学校名	制作代表者	学年
4	県立座間	山本真希子	3
5	横浜市立鶴見工業	熊谷剛	3

< 番組制作部門：審査の観点 >

1) 題材の選択

[課題部門]

「われら高校生」という総合テーマの下で、どのような題材がどのような題材がどのような視点で選択、設定されているか。

[自由部門]

どのようなテーマがどのような視点で選択、設定されているか。

2) 内容・構成

テーマを生かすためにどのような取材や構成が行われているか。
制作の方法は適切か。

3) 制作技術・効果

録音（録画）の技術はどうか。音楽や効果音が適切に使われているか。

4) アナウンス・ナレーション

アナウンス・ナレーションの技術はどうか。

5) 全体的な印象

1)～4)以外の点で感じられたことも含む。

* 審査台本も審査対象とする。

* 機材の性能による画像ノイズなどは減点しない。

◇ 研究発表部門の審査の観点は、番組制作部門に準じる。

出場校及び参加部門別本数一覧

《横浜地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立鶴見	1	1	1					2
県立横浜翠嵐	1	1		1				3
県立川和	2	2	1					5
県立柏陽	2	2						4
県立横浜立野	1	2		1				4
県立横浜日野		1		1				2
県立港北	2	2						4
県立港南台	1	2		1				4
県立市ヶ尾		2						2
県立清水ヶ丘	2	2						4
県立金井	1	2	1		1			5
県立白山		1		1	1	1		4
県立新羽		1						1
県立岡津	1		1	1				3
県立磯子	2	2						4
県立瀬谷西	2	2	1	1				6
県立荏田				1				1
県立保土ヶ谷	2	2						4
県立新栄	1	2		1	1	1		6
県立水取沢		1						1
県立元石川	2	2	1			1		6
県立釜利谷	1	2						3
県立永谷	1	1						2
県立六ッ川	2	2		1				5
県立城郷	1	2						3
県立神奈川工業	2	1	1					4
横浜市立戸塚	1	1		1				3
横浜市立金沢	1	2	1		1			5
横浜市立南	2	2	1	1	1	1		8
横浜市立鶴見工業	2	2	1	1	1	1	1	9
成美学園女子		2						2
横浜創英短大女子	2	2						4
鶴見女子	2	1		1				4
法政大学女子	2	2		1				5
日本大学			1	1				2
武相		2						2
横浜地区合計	41	56	11	16	6	5	1	136

《川崎地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立川崎	2	2		1				5
県立多摩	1				1			2
県立生田	2	2	1	1	1	1		8
県立川崎北				1				1
県立百合丘				1				1
県立柿生	1	1	1	1				4
県立生田東				1				1
県立川崎南					1			1
県立大師		2						2
県立川崎工業		1		1		1		3
県立向の岡工						1		1
川崎市立川崎	2	2			1	1		6
川崎市立高津			1					1
川崎市立商業	2	2	1	1	1	1		8
法政大学第二	2	2	1	1	1	1	1	9
カリタス女子	2	2						4
川崎地区合計	14	16	5	9	6	6	1	57

《横須賀・三浦地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立横須賀	2	2		1				5
県立追浜		2		1				3
県立逗葉	1	2	1	1				5
県立久里浜				1				1
横須賀市立横須賀				1				1
横三地区合計	3	6	1	5	0	0	0	15

《湘南地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立平塚江南		2		1				3
県立鎌倉		2	1	1				4
県立湘南	2	2	1	1				6
県立茅ヶ崎				1				1
県立茅ヶ崎北陵	1	1	1	1				4
県立鶴嶺	2			1				3
県立藤沢西	1	2						3
県立藤沢北	2	2	1	1				6
県立五領ヶ台	2	2						4
県立寒川	2	2		1				5
県立茅ヶ崎西浜		2		1				3
県立大船工業技術			1					1
日本大学藤沢	2	2		1	1	1		7
湘南工科大学附属	2	2						4
湘南地区合計	16	21	5	10	1	1	0	54

《西湘・北相地区》

学校名	アナ	朗読	ラ課	ラ自	テ課	テ自	研究	合計
県立小田原城内	2	2	1					5
県立小田原城北工業	2	2		1				5
県立大和	2	2		1				5
県立厚木	2	2		1				5
県立津久井						1		1
県立座間	2	2	1	1	1	1	1	9
県立麻溝台	2	2	1	1		1		7
県立橋本				1				1
県立相武台	1	2		1		1		5
県立海老名	2	2	1	1				6
県立大和東	2	2				1		5
県立有馬	2	2	1	1	1	1	1	9
県立弥栄東		2		1				3
県立新磯		2						2
県立相模大野	2	2	1	1	1	1		8
相模女子大学高等部	2	1	1	1			1	6
麻布大学附属御野辺					1	1		2
東海大学附属相模	2	2	1	1	1	1		8
向上	2	2	1		1	1		7
西湘北相地区合計	27	31	9	13	6	10	3	99
総計	101	130	31	53	19	22	5	361

ナ行、カ、ハ。
文末しっかり。発音、姿勢。

本を下の →
正確な内容をつかいて

文章が上手いから、ふいに、ふいに、ふいに

諸注意



1. 校舎内、体育館内は土足厳禁です。スリッパを忘れた人は素足で入場して下さい。

2. 飲食は4階の控室以外では禁止です。



3. 所定のゴミ箱以外には、絶対にゴミを捨てないで下さい。

4. 立入禁止区域に入らないこと。また、教室内の私物には手をふれぬこと。
その他あらゆる点で、会場校に迷惑をかけないように、考えて行動すること。

5. 審査中は静かにして下さい。

会場内は勿論、廊下でも静かに。会場への出入りは、審査の境目にする。

6. 予選のなかった作品、スクリプト等の受け渡しは各会場で行います。提出時間に遅れないように。

7. アナウンス、朗読の出場者は早めに各会場で待機していること。

8. 予選落選作品は、12:00~13:00に4階美術室前の廊下にて返却します。審査用紙と「落選作品の順位の日安」を同時にお渡しします。受け取りにこなかった学校の分は廃棄されます。

9. 全国大会出場者(作品)は、今後の詳細な連絡と、必要文書の配布をしますので、閉会式後必ず残して下さい。

2) 朗読の練習の場を、各会場に設けます。

朗読の練習の場を、各会場に設けます。
12:00~13:00に4階美術室前の廊下にて返却します。